

新さっぽろ 脳神経外科病院

札幌市厚別区上野幌1条2丁目1-10
TEL011-891-2500
<http://www.snh.or.jp>



理事・副院長
藤重正人氏

1986年札幌医科大学卒。90年札幌医科大学大学院修了。日本脳神経外科学会専門医、日本脳卒中学会専門医

手術数

230

脳動脈瘤 48
(破裂・未破裂含)
開頭術 37
脳血管内治療 11

脳梗塞 25

脳出血 16

日本で最初の 脳ドックを開設 脳卒中は治療から予防へ

脳卒中救急医療と全国で初めて開設された脳ドックによる脳卒中予防を柱とした診療を行う。

脳動脈瘤の手術は、熟練度が問われる開頭クリッピング術と、劇的に進歩してきた血管内カテーテル法によるコイル塞栓術がある。同院ではどちらかの治療に偏らず適切に選択できる体制にあり、脳動脈瘤の根治的手術法として確立されたクリッピング術は、術者として20年以上の経験を有する医師が担当し、1997年以後に保険適応となり普及してきたコイル塞栓術は、同年以前から経験を積んできた医師が施術を担当。また、脳梗塞の神経再生医療を札幌医大と共に行っており、治療効果が認められた患者もいるなどして、研究を進めている。

脳卒中の治療では道内でも有数のリハビリテーション部を備え、自宅退院後の訪問リハビリテーションにも精力的だ。急性期治療を担当した医師が、引き続きリハビリテーション、外来診療にも関わる体制をとっているため、患者にも安心感を与えている。